

## 全員発表研修会に参加して 研鑽を続けることが重要！

日時：平成23年7月17日(日)～18日(月)  
場所：熱海ニューフジヤホテル



藤野能成 (東京都)

平成23年7月17日(日)、18日(月)第6回全員発表会が熱海ニューフジヤホテルで行われました。

今年は震災の影響により、4月に予定されていた新人発表会を併催するため、例年より早い集合でありましたが、開会前から多くの会員が集合し、会場は開始早々より満席となりました。

今年の症例発表は3年経過症例との通達があったこともあり、多くの長期経過症例を拝見することができました。

会場では様々な症例が発表され、それに対する質疑応答や、時にはゲストでいらしていただいている先生方を交えての討論が行われ、大変有意義な時間となりました。

今回は発表時間が4分と短く設定されていたため、内容の多い先生は時間通りに終了することが難しく、苦勞されていました。

特別講演として東京医科歯科大学インプラント・

口腔再生学准教授であられる塩田真先生に『デジタルデンティストリーの一環としてのCAD/CAM』の演題でご講演いただきました。

デジタル化の波は歯科界にも押し寄せ、歯科医療ならびに事業形態も大きな変換点を迎えていることが具体的な事例として示され、大変勉強になりました。

2日目のシンポジウムでは東京医科歯科大学歯学部付属病院歯科総合診療部長の小田茂先生を座長としてお迎えし、『ペリオ・インプラント』のテーマで歯周病専門医としてご活躍中の関啓介先生、佐藤博俊先生、武田朋子先生によるご講演ならびに討論会が開催されました。

インプラント周囲炎のケアから、インプラント治療計画におけるペリオ評価にわたるまで多方面からのご教示をいただきました。

適切な治療を行うには、いまある病状を正しく評





価値することの重要性を改めて感じる事ができました。

1日目の研修会終了後に、ホテル宴会場にて懇親会が行われました。

開会前には参加者全員による記念撮影が行われ、壇上に収まりきれないほど多くの会員が参加されていることに驚きを感じました。

会場ではお酒の力もあり、治療に関することからプライベートのことまでいろいろな話が飛び交い、会員同士の親睦を深めました。

その後、場所を移して2次会が行われましたが、多くの会員が参加にご参加いただき、会場には田中譲治先生の歌声が響きわたったこともあって、盛況でありました。

2次会の他に設けられた『勉強部屋』では、夜遅くまでスライドをみながらの討論が行われたようです。

翌日は朝8時からの開始でしたが、多くの方が昨日の疲れも見せず時間前より会場に集合し、前日と同様に活発な意見交換がなされました。

全員発表会終了後にシンポジウムが行われ、研修会は無事終了となり、その後、新人発表会が行われました。

2日間にわたりインプラント臨床に浸った感想は、井汲会長がおっしゃる通り、まさに『インプラント道場』でありました。

すべての会員発表が患者のためにより良いインプラント治療を行いたいという熱い思いの上になされていて、知識だけではなく診療に向き合う姿勢も教えていただきました。

よりよい医療を提供することで患者が幸せになり、それにより私たちが幸せを感じられるよう、研鑽し続けることが重要であると改めて感じさせられた2日間でした。

